

『岡山の自然と文化 郷土文化講座から』

「郷土文化講座」の講演をまとめた講演集です。
文化財団会員の方には最新号を無償で配布しております。

バックナンバー一覧（会員価格500円 一般価格700円）

1号（昭和56年発行）

・岡山と池田藩	兵庫教育大学長	谷口 澄夫
・吉備文化	ノートルダム清心女子大学教授	神野 力
・岡山の花と木	岡山大学・清心学園講師	佐藤 清明
・岡山の動物	川崎医療大学副学長	松本 邦夫
・岡山の鳥	岡山県立岡山朝日高等学校教諭	太田 耕次郎
・岡山の風俗	岡山民俗学会理事長	土井 卓治
・岡山の民話	山陽学園短期大学助教授	稲田 和子
・文化雑感	岡山県知事・文化財団理事長	長野 士郎
・岡山の古い歌	美作女子大学教授	野上 義臣
・岡山の食風俗	川崎医療短期大学教授	鶴藤 鹿忠
・岡山の食用植物	順生短期大学講師	加藤 豊
・備前焼	備前焼作家	山本 陶秀
・岡山の短歌	山陽学園短期大学教授	大岩 徳二

2号（昭和58年発行）

・岡山に文化と行政	岡山県企画部次長	信朝 寛
・岡山の美術館	大原美術館館長	藤田 慎一郎
・岡山の魚	岡山県水産試験場場長	山本 喜久蔵
・岡山の写真	写真家	石津 良介
・岡山の自然	県自然環境保全審議会会長	池田 隆政
・岡山の埋蔵文化財	倉敷考古館館長	間壁 忠彦
・岡山の民芸	倉敷民芸館館長	外村 吉之介

3号（昭和59年発行）

・岡山の文学	岡山市立オリエント美術館館長	山本遺太郎
・岡山の歴史と県民性	兵庫教育大学助教授	柴田 一
・岡山の文化財	岡山美術館館長	大熊立治
・岡山の石仏	郷土史家	巖津政右衛門
・岡山の昆虫	倉敷昆虫館館長	重井 博
・岡山の植物	岡山県植物研究会会長	西原礼之助

1 1号 (平成4年発行)

- | | | |
|--------------|-----------------|------|
| ・津田永忠 | 兵庫教育大学教授 | 柴田 一 |
| ・正宗白鳥の戯曲の面白さ | 岡山大学教授 | 赤羽 学 |
| ・虫明焼 | 陶芸家 | 黒井一楽 |
| ・岡山の家畜文化史 | 広島大学名誉教授 福山大学教授 | 石田 寛 |
| ・岡山の楷の木と菊桜 | 岡山県自然保護審議会委員 | 難波早苗 |
| ・考古学からみた吉備 | 岡山県立博物館副館長 | 高橋 護 |

1 2号 (平成5年発行)

- | | | |
|------------------|-----------|-------|
| ・塗り物の系譜－茶の湯の塗り物－ | 塗師宗哲十二代 | 中村弘子 |
| ・「湿原」から見た岡山の自然 | 岡山理科大学助教授 | 波田善夫 |
| ・良寛さんの円通寺時代の修行 | 長川寺東堂 | 吉川彰準 |
| ・大原美術館六〇年の歩み | 大原美術館館長 | 藤田慎一郎 |
| ・犬養木堂翁の手紙 | | |

岡山県総務部総務学事課参事 (公文書館整備対策班) 人見彰彦

- | | | |
|-----------|----------------|------|
| ・太平記時代の岡山 | ノートルダム清心女子大学教授 | 三好基之 |
|-----------|----------------|------|

1 3号 (平成6年発行)

- | | | |
|------------|-------------------------|-------|
| ・能と能装束 | 大手前女子大学教授 | 切畑 健 |
| ・漢字の話 | 神戸女子大学瀬戸短期大学学長 岡山大学名誉教授 | 福田襄之介 |
| ・高松城水攻め始末 | 岡山県立博物館総括学芸員 | 加原耕作 |
| ・夏目漱石と内田百閒 | 吉備国際大学学長 元岡山大学学長 | 大藤 眞 |
| ・岡山の米今昔 | 岡山県農業共済組合連合会農業技術指導課長 | 大森信章 |
| ・お菓子の話 | 芭蕉庵店主 | 白神孝男 |

1 4号 (平成7年発行)

- | | | |
|---------------|----------------|-------|
| ・備中神楽 | 民俗学者 | 神崎宣武 |
| ・特別天然記念物 丹頂 | 岡山県自然保護センター技術員 | 井口萬喜男 |
| ・恐竜の話 | 林原自然科学博物館準備室長 | 石井健一 |
| ・心いま | 曹源寺住職 | 原田正道 |
| ・岡山の河川交通－高瀬舟－ | 岡山県立博物館学芸員 | 田村啓介 |
| ・岡山の風土と文化 | 岡山県教育庁文化課課長補佐 | 臼井洋輔 |

1 5号 (平成8年発行)

- | | | |
|-----------------------|-----------------|------|
| ・雪舟以前の岡山の美術家たち | 岡山大学文学部教授 | 齊藤 孝 |
| ・宇宙と人間 | 美星天文台長 京都大学名誉教授 | 小暮智一 |
| ・「鎖国」と「異国」－朝鮮通信使をめぐる－ | | |
| | 岡山大学文学部助教授 | 倉地克直 |
| ・林原美術館三〇年の歩み | (財) 林原美術館館長代理 | 森山泰男 |
| ・岡山の鍾乳洞 | 前日本洞窟協会副会長 | 柴田 晃 |
| ・薬草の話－民族文化としての薬草－ | 岡山大学名誉教授 | 奥田拓男 |
| ・農耕の開始と発展 | 奈良国立文化財研究所所長 | 田中 。 |

16号（平成9年発行）

- | | | |
|-----------------|-----------------|------|
| ・岡山城と後樂園 | 岡山県立博物館総括学芸員 | 加原耕作 |
| ・漆の美 | 漆芸家（県重要無形文化財） | 山口松太 |
| ・岡山の明治建築 | 岡山県立博物館館長 | 中力 昭 |
| ・浦上玉堂 | 岡山県立美術館主任学芸員 | 守安 収 |
| ・映画の現場45年をふり返って | 黒澤プロダクションマネージャー | 野上照代 |

17号（平成10年発行）

- | | | |
|---------------------------|--------------|------|
| ・丹頂鶴の思い出 | 岡山県郷土文化財団理事長 | 長野士郎 |
| ・岡山の祭り | 岡山県立美術館顧問 | 神野 力 |
| ・よりよく生きる | 黒住教教主 | 黒住宗晴 |
| ・北海道定山溪温泉を開いた岡山県出身の定山坊の生涯 | | |

- | | | |
|---------------|-------------|------|
| | ノンフィクション作家 | 合田一道 |
| ・備前焼 | 重要無形文化財保持者 | 藤原 雄 |
| ・宇喜多直家・秀家の人物像 | 岡山県郷土文化財団参事 | 人見彰彦 |

18号（平成11年発行）

- | | | |
|----------------------------------|------------------|------|
| ・最近発掘された埋蔵文化財に見る岡山 | 岡山県教育庁文化課参事 | 葛原克人 |
| ・牛窓町前島の大坂築城残石をめぐって | 大阪城天守閣副館長 | 中村博司 |
| ・岡山の緑を世界の緑へ | （財）国際生態学センター研究所長 | 宮脇 昭 |
| ・岡山の城下町 | 郷土史研究家 | 片山新助 |
| ・ガラスを吹く | 倉敷ガラス作者 | 小谷真三 |
| ・イギリスのナショナル・トラストと日本のナショナル・トラスト運動 | | |
| | 岡山県郷土文化財団常務理事 | 高山雅之 |

19号（平成12年発行）

- | | | |
|--------------------------------|------------------|------|
| ・日本の意匠 | 京都国立博物館工芸室長 | 灰野昭郎 |
| ・岡山城をめぐる人間模様 | 作家 | 松本幸子 |
| ・偶然と人生と | 写真家 | 緑川洋一 |
| ・岡山のブナ林 | 岡山県自然保護センター主任研究員 | 西本 孝 |
| ・塩田王 野 ^平 武左衛門一人と事績ー | | |
| 元岡山大学長 前倉敷芸術科学大学長 | 現就実女子大学長 | 谷口澄夫 |
| ・ー江戸時代の岡山後樂園日々の記録ー「御後園諸事留帳」 | | |
| | 就実女子大学教授 | 神原邦男 |

20号（平成13年発行）

- | | | |
|----------------------|--------------|-------|
| ・民族・宗教・文化ーアラビアに勤務してー | 前在イエメン大使 | 秋山 進 |
| ・日本のおもちゃ、ドイツのおもちゃ | 現代玩具博物館館長 | 西田明夫 |
| ・南極の自然と環境ー地質調査を通じてー | 岡山大学教育学部助教授 | 小山内康人 |
| ・日本酒よもやま話 | 利守酒造（株）代表取締役 | 利守忠義 |
| ・古民家再生術 | 建築家 | 大角雄三 |

21号（平成14年発行）

- | | | |
|------------|----------------|-------|
| ・倉敷と大原家 | 大原美術館監事 | 守屋 清 |
| ・造山古墳倭王陵論 | 岡山市教育委員会文化財課課長 | 出宮徳尚 |
| ・児島虎次郎の生涯 | 陶芸家 | 児島塊太郎 |
| ・岡山の地学 | 岡山大学名誉教授理学博士 | 光野千春 |
| ・木工芸刳物のはなし | 木工芸家 | 森田翠玉 |
| ・津山城引渡し | 津山郷土博物館主査 | 尾島 治 |

22号（平成15年発行）

- | | | |
|----------------|--------------------|------|
| ・岡山県立美術館10年の歩み | 岡山県立美術館館長 | 宮地暢夫 |
| ・江戸時代の岡山文人サロン | 岡山県総務学事課文書整備班主幹 | 定兼 学 |
| ・岡山の民話 | 岡山民俗学会理事長 | 立石憲利 |
| ・自然をたのしむ | 岡山県自然保護センター自然保護研究員 | 地職 恵 |
| ・古代ガラスから見た文化 | ガラス工芸家 | 松島 巖 |
| ・人間犬養木堂 | 倉敷芸術科学大学教授 | 時任英人 |
| ・五・一五事件と私 | 社団法人共同通信社顧問 | 犬養康彦 |

23号（平成16年発行）

- | | | |
|----------------------|--------------------|-------|
| ・私の和紙造り人生 | 備中和紙製作者（県重要無形文化財） | 丹下哲夫 |
| ・「竹喬（はし・ちっきょう）」時代の竹喬 | 笠岡市立竹喬美術館副館長 | 上 蘭四郎 |
| ・たんぼの営みと生きもの | 岡山県自然保護センター自然保護研究員 | 森 生枝 |
| ・地元からみた宮本武蔵像 | 元大原町文化財保護委員会委員長 | 中田尚治 |
| ・世界図屏風の現代的意味について | 岡山県立博物館副館長 | 臼井洋輔 |
| ・信と愛をつらぬいた岡崎嘉平太の生涯 | 岡崎嘉平太記念館館長 | 光岡富佐子 |

24号（平成17年発行）

- | | | |
|--------------------------------|-----------------------|------|
| ・私が取り組んできた文化の仕事 | 岡山県副知事（現文部科学省大臣官房審議官） | 大西珠枝 |
| ・栄西とその時代 | 岡山大学文学部教授 | 久野修義 |
| ・能をたのしむ | 京都府立大学教授 | 山崎福之 |
| ・一開館50周年記念一岡山周辺の海の生きものと玉野海洋博物館 | よもやま話 | |
| | 玉野市立玉野海洋博物館館長 | 坂口 誠 |
| ・「御茶屋御絵図」と後樂園 | 岡山県郷土文化財団研究員 | 万城あき |

25号（平成18年発行）

- | | | |
|-----------------------------|------------|-------|
| ・八丈島から宇喜多秀家を想う | 吉備国際大学教授 | 臼井洋輔 |
| ・幕末の動乱と山田方谷 | 吉備国際大学講師 | 朝森 要 |
| ・自然のいとなみに魅せられて一岡山後樂園と小さな仲間一 | | |
| | 自然写真家 | 難波由城雄 |
| ・備前焼 | 重要無形文化財保持者 | 伊勢崎 淳 |

26号（平成19年発行）

- | | | |
|----------------|------------|------|
| ・洛中洛外図屏風の世界 | 林原美術館館長 | 熊倉功夫 |
| ・岡山方言の特徴と全国的位置 | 岡山大学教育学部教授 | 吉田則夫 |

- ・平櫛田中の生涯と芸術 井原市立田中美術館主任学芸員 青木寛明
- ・自然の復元 岡山県自然保護センター主任研究員 西本 孝

27号（平成20年発行）

- ・日本の色の流れ 染織史家 吉岡幸雄
- ・雪舟ー没後五百年ー 岡山県立美術館学芸課長 守安 收
- ・重森三玲友琳の庭復元ーものづくりへのこだわりー 造園家 岩本俊男
- ・備中神楽のあれこれ 備中神楽保存振興会副会長 藤原昌孝

28号（平成21年発行）

- ・オリエント美術館は「郷土文化」からオリエント美術館29年の歩みと取り組みー 岡山市立オリエント美術館館長 谷一 尚
- ・岡山城と城下町ー掘って・比べて・考えるー 岡山市教育委員会文化財課文化財副専門監 乗岡 実
- ・岡山県下の巨樹・老樹の治療 事例とその後の経過について 樹木医 山本利幸
- ・吉備真備 岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授 今津勝紀

29号（平成22年発行）

- ・進化の隣人に学ぶ 京都大学野生動物研究センター長（教授） 林原類人猿研究センター所長 伊谷 原一
- ・新田場の履歴ー近世の児島湾干拓と干拓地の暮らしー 岡山市教育委員会 政田民俗資料館管理員 安倉 清博
- ・内田百閒ー一生誕百二十年に寄せてー 岡山県郷土文化財団研究員 万城 あき
- ・岡山とトルストイ 元山陽学園大学教授 太田 健一

30号（平成23年発行）

- ・歴代岡山藩主と林原美術館所蔵品 財団法人林原美術館学芸員 浅利 尚民
- ・備中漆の復興 岡山県郷土文化財団 参与 高山 雅之
- ・岡山県の植物は今ー増えた植物、減った植物ー 倉敷市立自然史博物館 学芸員 狩山 俊悟
- ・岡山の鉄道遺産とその背景 吉備国際大学社会学部ビジネスコミュニティ学科 准教授 小西 伸彦

31号（平成24年発行）

- ・のれんにより町づくり 染織家 加納 容子

- ・コンピュータ考古学で見た郷土の文化財

岡山大学大学院社会文化科学研究科教授

新納 泉

- ・医学から科学へー洋学者たちのあくなき挑戦ー 津山洋学資料館館長

下山 純正

- ・野鳥は大切な仲間ー野鳥観察から学んだ自然の仕組みー 落合野鳥の会会長

宮林 英子

- ・第一回 おかやま文化フォーラム『見えてきた古代吉備の実像』

32号（平成25年発行）

- ・岡山における水との闘い

ー旭川の過去・現在・未来ー

国土交通省岡山河川事務所所長

植田 彰

- ・「民藝で語る」

外村家で暮らして

くらしに民藝を

染織家 上田 睦子

日本民藝協会会長 金光 章

- ・造形史から見る仏像の意義について

就実大学人文科学学部教授

土井 通弘

- ・岡山の文学者たちー多士済々と反骨とー

ノートルダム清心女子大学教授

綾目 広治

- ・第二回おかやま文化フォーラム『見えてきた古代吉備の実像』

33号（平成26年発行）

- ・岡山の木工芸

ー知られざる名工と現代の匠たちー

岡山県立美術館主任学芸員

福富 幸

- ・津山の城と城下町

津山郷土博物館館長

尾島 治

- ・池田動物園六十周年を迎えて

池田動物園副園長

忠政 智登士

- ・大原孫三郎に応えた郷土の建築家 薬師寺主計 ノートルダム清心女子大学

人間生活学部教授

上田 恭嗣

- ・第三回おかやま文化フォーラム

『美作国建国と律令国家』

ー古代吉備の実像に迫る 完結編ー

34号（平成27年発行）

- ・山陽放送のあゆみ 山陽放送株式会社 代表取締役
原 憲一
- ・閑谷学校に託した津田永忠のころ 元閑谷学校資料館館長
竹内 良雄
- ・身近な自然とまもり残すために 重井薬用植物園園長
―重井薬用植物園の五十年― 片岡 博行
- ・備中漆・林原の支援を受けて 備中漆新見研修所「漆の館」館長
―私なりにわかったこと― 小野 忠司
- ・第四回おかやま文化フォーラム
『今、中世の実像を求めて』

35号（平成28年発行）

- ・自然災害への備えについて 岡山県危機管理監
松尾 茂樹
- ・中世荘園の世界 岡山地方史研究会会員 筑波大学博士（文学）
―新見荘と東寺百合文書― 辰田 芳雄
- ・倉敷市所蔵 「薄田泣菫文庫」資料をめぐって
就実短期大学生活実践科学科准教授 加藤 美奈子
- ・第五回おかやま文化フォーラム
『今、中世の実像を求めて 信仰世界の「ころ」と「かたち」』

36号（平成29年発行）

- ・世界から見た日本の自然と文化 岡山理科大学学長
波田 善夫
- ・「石谷家文書」
林原美術館所蔵 石谷家文書について 林原美術館学芸課長 浅利 尚民
石谷家文書から見る長宗我部元親の四国平定戦
岡山県立博物館学芸課主幹 内池 英樹
- ・岡山の妖怪たち 岡山民俗会理事 木下 浩
- ・岡山弁再発見！ 岡山弁協会会長 青山 融
- ・第六回おかやま文化フォーラム
『今、中世の実像を求めて 時代の変革と地域』

37号（平成30年発行）

- ・「恐竜発掘はいったい何の役に立つの」と問われて？

岡山理科大学生物地球学部教授 石垣 忍

- ・漱石ゆかりの岡山びと

岡山ペンクラブ会員 池田 武彦

- ・岡山県の軽便鉄道

前岡山県記録資料館館長 在間 宣久

- ・備前刀モノ語り

備前長船刀剣博物館学芸員 植野 哲也

- ・第七回おかやま文化フォーラム

『近世の実像を求めて 史料の語る近世岡山』

38号（平成31年発行）

- ・犬養木堂が挑んだ近代日本の光と闇

犬養木堂記念館館長 板野 忠司

- ・岡山をめぐる中世の宗教者たち

就実大学人文科学部教授 苅米 一志

- ・地下構造からみた岡山平野の成り立ちと地震災害

岡山理科大学客員研究員 西村 敬一

- ・岡山市中心部の「映画史跡」を巡る

映画批評家・岡山理科大学兼任講師 世良 利和

- ・第八回おかやま文化フォーラム

『近世の実像を求めて 明治維新とは何であったか』

- ・特別講演会

『ユネスコ記憶遺産に登録された朝鮮通信使』

岡山大学特命教授 倉地 克直

39号（令和2年発行）

- ・私が出会った歴史資料－資料を次世代につなぐ営みとともに－

岡山県教育庁文化財課 副参事 内池 英樹

- ・岡山の昆虫－いちばん身近でいちばんわからない生き物－

倉敷市立自然史博物館主任（学芸員） 奥島 雄一

- ・近代の後楽園

公益財団法人岡山県郷土文化財団主任研究員 万城 あき

- ・第九回おかやま文化フォーラム

『近世の実像を求めて 世界の中の近世日本』

- ・特別講演会『内田百閒文学碑建立をその後の展開』

元岡山県郷土文化財団常務理事 順正学園監事 高山雅之

40号（令和3年発行）

- ・「真庭市の自然と文化」

さとやま資源の利活用ーバイオマスと草原に着目してー

真庭市林業バイオマス産業課上級主事 増井 太樹

- ・蒜山ー自然と人・文化の関係史

真庭市蒜山郷土博物館 館長 前原 茂雄

- ・岡山の土木遺産ー地域資産としての保存と活用ー

岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授 樋口 輝久

- ・岡山市域の古典籍をめぐってー正宗敦夫から池田光政・綱政へー

元ノートルダム清心女子大学文学部准教授 天理大学文学部教授 原 豊二

41号（令和4年発行）

- ・「高梁市の歴史と文化ー文化財の視点からー」

高梁市教育委員会 参与 田村 啓介

- ・倉敷市南山城跡の発掘調査成果

岡山県古代吉備文化財センター 主幹 米田 克彦

- ・坪田譲治 ー故郷岡山から生まれた作品世界ー

ノートルダム清心女子大文学部 教授 山根 知子

42号（令和5年発行）

- ・「岡山の種痘ー岡山における幕末～明治の感染症対策ー」

長島愛生園歴史館学芸員

岡山大学医学部客員研究員 木下 浩

- ・海と生きるー笠岡市の自然と文化ー

笠岡市教育委員会生涯学習課 参事 安東 康宏

- ・備前大釜を掘るー発掘調査から見えた備前焼の過去と未来ー

備前市教育委員会文化振興課 参事 石井 啓

- ・第十回おかやま文化フォーラム 完結編

『歴史の実像を求めて 地域と歴史資料』

43号（令和6年発行）

- ・新見からの発信 ー新見美術館の取り組みー

新見美術館 館長 藤 井 茂 樹

- ・岡山の縄文時代：環境・文化・人口

岡山大学文明動態学研究所 助教 山 口 雄 治

- ・『備前軍記』『備中兵乱記』を読み直す—江戸時代の軍記物が記す戦国時代の岡山—
岡山県教育庁文化財課 参事 内 池 英 樹

- ・特別講演会

『屏風がつなぐ昔と今』

倉敷芸術科学大学 教授 森 山 知 己

NEW! 44号（令和7年発行）

- ・『岡山後楽園殿様の御馳走帖』覚書

『岡山後楽園殿様の御馳走帖』について事業の経過報告

公益財団法人岡山県郷土文化財団常務理事 信江幸雄

『岡山後楽園殿様の御馳走帖』と殿様の暮らし

公益財団法人岡山県郷土文化財団主任研究員 万城あき

文献と考古資料に見る御後園と岡山城内の食

料理流派 柳一刀流柳会食文化史研究者 岡嶋隆司

- ・中世の修験道と吉備地域

岡山大学学術研究院社会文化科学学域 准教授 徳永誓子

- ・井原市の自然と文化—「星の郷」と山陽道沿いの山城—

井原市教育委員会井原市文化財センター 研究員 首藤ゆきえ

※1号、2号、4号～10号以外は在庫がございます。 お問い合わせください。